

桜蔭俳話会 九月句会 (第三四八回) の鑑賞と添削

月光の退りし時刻パン屋の灯

鑑賞: 月が消える頃にパン屋の灯が点る。早朝から作業が始まるのは豆腐屋も新聞配達なども同じである。自然界の営みが終わった後に、人間界の営みが始まる。

ほしのまま生ふ豚草や靴干さる ヤエ子

添削: 靴干せし空き家豚草ほしのまま

秋深し一汁一菜酒一合

鑑賞: 中七部と下五部を「一」に絡めて纏めたのは、巧みである。

日本語構成の音節論から上五部中七部、下五部はいずれも八音まで許容される、と豪語する人もいる。

このような人は論外として、俳句の妙味は、全体で十七音という制約を自らに課し、その中で、言葉を磨き、また削って、題材に関する自らの思いを、第三者にも解るように表白することにある。

短歌や小説とは別のジャンル、が成立する由縁であろうか。

秋雷や堂の仏の指細し 友子

鑑賞: 古典的な作り方であるが、俳句は一瞬の観察から始まる。

細流れの砂浜に消ゆ鰯雲 友子

鑑賞: 細流れが砂に消える情景。鰯雲は遠い空に消える。

一株の鶏頭庭を紅く染む 邦子

添削: 庭染めて一株に足る鶏頭花

江戸川やバケツにひさぐ月見豆 朋子

鑑賞: 江戸川とバケツの突き合わせが良い。

虫の声を聞き分けてをり不眠症 友子

鑑賞: 不眠症が効いている。

月光にラテンダンスとカクテルと 明美

添削: 月光にラテンダンスの髪飾り

秋ばらや母子の慰霊碑海へ向き 朋子

添削: 母子の碑のフランス山や秋の天

いとおしや孫の泣き声長き夜 邦子

添削: いとおしき嬰の泣き声夜長し

ちちろ虫空家に人の気配あり ツル子

鑑賞: 都市部でも空き家が増えて来ている。ち

ちろ虫は、住人の有無に関係なく鳴いている。

手のつかぬ写真整理や鰯雲 秀一

鑑賞: 年の暮によく出てくる句立てであるが、季語は秋、鰯雲である。やみくもに兵の損耗に走った先の大戦への感慨と、後先も考えずに撮りまくった写真の多さ後悔している姿とが、重なってよく見えて来る。

レモン切る柳原良平港の絵 朋子

鑑賞: 朝餉に着るレモン。柳原良平に思いを馳せるのは良く解る。ダイレクトに「港の絵」と置くのは判り易いが、港を暗示するものを別のものを置いてはどうか。

黒葡萄良き事あれば購へり 眞壽

添削: 黒葡萄良きことのあり贖へり

月光の沖帆船の黒き影

明美

添削: 月光や止まる隣家の救急車

添削: 月白や夷狄の船の影黒し

パソコンに翻弄さるる夜長かな

明美

芭蕉つややか全きも破れたるも

朋子

添削: パソコンの長き沈黙ちちろ虫

鑑賞: 破調であるが十七音に収めている。芭蕉

公園で鳩に餌やるこぼれ萩

眞壽

の葉の実在感がある。

添削: 公園の鳩飛び交ひしこぼれ萩

朝の庭によつきり二本曼珠沙華 ツル子

曼珠沙華音なき風に滴落つ

ヤエ子

添削: 雨の庭によつきり二本曼珠沙華

添削: 曼珠沙華の音なき風や水の玉

秋霖や自動振込せぬ税金

秀一

花木権剪定あとの紅一花

ツル子

添削: 税除く自動振込み秋の雨

添削: 枝截りしあとの一花や白木権

真白なるタクト踊るや秋の夜

かおる

墓参り生まれ替はりのひ孫かな

友子

添削: 合唱のタクト真白し秋ゆふべ

添削: 昼の月生まれ替はりの嬰いだく

気に入りの母の夜なべのワンピース 友子

クルーズや訛飛びかふ秋眞昼

かおる

添削: ベダル踏む母が夜なべのワンピース

添削: 里言葉飛びかふクルーズ秋の天

秋鯖を酒の肴に夜が更け

眞壽

ぶらぶらと向ひの家の糸瓜かな

邦子

添削: 秋鯖や酒の肴にひとかけら

添削: ぶうらりと向ひの家の大糸瓜

萩の露かかると嬉し朝散歩

邦子

秋彼岸買物ひとつ忘じけり

秀一

添削: ジーンズの金のボタンや萩の露

添削: 鵬日和買物ひとつ忘じをり

玉堂の線柔らかや秋海棠

ヤエ子

ポケットに貝殻ひとつ月を待つ

朋子

添削: 玉堂の線のやはらか秋海棠

添削: ポケットに遊ぶ貝殻月待てり

十字路の警官せはし秋まつり

秀一

ふらふらの秋の蚊さへも打ち損ね

ヤエ子

添削: 十字路の駐在の影秋まつり

添削: ぶらぶらや秋蚊ひとつを打ち損ね

水引のこぼれ日うつす寺の庭

ツル子

朝寒や布団寄せをり夢うつつ

ツル子

添削: こぼれ日に乗せし水引瑞巖寺

添削: 朝寒や吾を引き留めし夢ひとつ

白シャツの下弦の月や救急車

かおる

復活の子供祭りや秋の雷

かおる

添削!秋祭弾け復活一年目

御神輿は車が引けり都市の秋 眞壽

添削!少子化や車に引かす秋祭

つや姫の道中知るや柿落葉 かおる

添削!柿紅葉つれて「つや姫」来たりけり

星一つ連れて出でけり今日の月 邦子

添削!次女よりのメール待ちをり今日の月

秋日傘マダム集まる銀座かな 明美

添削!異国語の目指す銀座や秋日傘

渦潮の展望台は風涼し 眞壽

添削!見下ろせる潮のうねりや秋涼し

美しの搭の音高し秋薊 ヤエ子

添削!美しの塔の音ひとつ秋薊

(文責 代表 増田守

不在投句 古野明美、京林眞壽、平野邦子)